

山城へは4つのルート

一乗谷城登山 ルートMAP

一乗谷の城下町から一乗谷城への登山道は4ルートあります。どのルートを登っても約1時間前後の山登りとなりますので、ハイキングができる程度の装備やウェアが必要です。山頂の山城周辺には売店や自販機もないので、持ち物にも注意して山城を楽しみましょう。



それぞれの登山口までの行き方はここから検索！

福井県ホームページ内

一乗城山 登山口

検索



登るルートは4つ 一乗谷城の歩きかた

登山難易度...★★★

A 下城戸ルート (片道70~100分) ★★☆☆

下城戸跡から一乗谷川を挟んだ向かいに登山口があります。道中では、高台から蛇行する足羽川の眺めを楽しむことができます。中級者向けルートです。

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館駐車場 (約140台)

B 馬出ルート (片道60~90分) ★★☆☆

山麓の八幡神社横の登山口から登る上級者向けのルートです。言い伝えでは大手道とよばれていました。道中には、石垣や小見放城跡、磨崖仏など、山城に関連する遺構が点在しています。

一乗谷史跡公園センター駐車場 (約45台)

- 注意点
- 山道は整備された登山道ではありません。起伏の激しいところもあります。天候等に十分注意してください。
 - 山道や山頂周辺にはトイレがないのでお気を付けください。
 - 山道や山頂周辺は私有地です。ゴミの始末も忘れずに地元の方にご迷惑になるような行動は慎みましょう。
 - 石造物や陶磁器の破片などの遺物を見つけた場合は、拾わずにそのままにしておいてください。

緊急時(道がわからない、ケガをした等) 落ち着いて110番通報してください。

一乗谷城は片道一時間程の登山です。低い山ですが甘く見ないよう気を付けて登ってください。

C 三万谷ルート (片道40~60分) ★☆☆

林道美山線駐車場前に登山口があり、登山口から山頂部に至る距離が最も短く、登りやすい初級者向けルートです。尾根をそのまま登ると、下城戸ルートとの合流地点に至ります。林道美山線は国道158号線沿いに入り口があり、一乗谷朝倉氏遺跡博物館から登山口前駐車場までは車で約15分です。

林道美山線駐車場 (約5台)

D 英林塚ルート (片道50~80分) ★★☆☆

朝倉館跡の背後に建つ朝倉孝景の墓碑「英林塚」から登る上級者向けの一番険しいルートです。遺跡の中心エリアに近いので、登山の前後での遺跡散策もおすすめです。

藤兵衛川原広場駐車場 (約70台)

事故を防ぐ おすすめの服装&持ち物



一乗谷城の縄張り

最強の城との呼び声も高い一乗谷城は、朝倉館跡の背後にそびえる標高約473mの一乗城山に築かれた山城で、山麓に広がる城下町を守っていました。城跡に建物は何も残っていませんが、その遺構から往時を偲ぶことができます。

※城の構造のことを「縄張り」といいます。

一乗谷城の見どころ
BEST 5

1
千畳敷跡



山城で最も広い平坦地で、広さは約1,500㎡もあります。ここでは列状に並んだ大きな礎石をみることができます。江戸時代に描かれた「一乗谷古絵図」によると、千畳敷は観音屋敷や月見櫓などとともに「山上御殿群」の一部として描かれています。

2

畝状空堀群



畝状空堀群とは土塁と塹堀を連続して構築した城郭遺構のことです。敵の横移動を制限する効果をねらって築られました。一乗谷城跡全体では100条以上も密集してみられます。

3

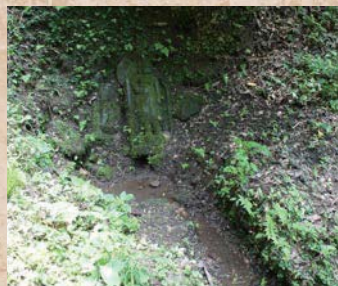
岩に彫られた磨崖仏



岩に線刻された磨崖仏があり、地藏菩薩が刻まれています。千畳敷跡にも石仏が複数かためて置かれています。山城にもかかわらず石仏が点在していることも、この城の特徴といえるでしょう。

4

不動清水



千畳敷跡の約30m下方にあり、不動明王の石仏の足元から水が湧き出ています。石仏の石材は足羽山から採掘された笏谷石です。山城で唯一の水源地であり、この清水を荒らすと荒天になるといわれています。

5

観音屋敷



三方が土塁で囲まれた広さ約400㎡の平坦面です。伝承地名と一段高くなった面には礎石も残ることから、ここに千手観音を祀る建物が建っていたと考えられます。現在の福井市の観音町商店街は、ここに祀られていた観音像が由来になったとされています。



そのほかにも見所たくさん

眺望も抜群



▲宿直跡から福井平野の眺め

6
宿直跡

観音屋敷の西南方向にある、広さ約750㎡の平坦面です。観音屋敷から続く通路には石垣土塁の虎口があり、少数ですが、敷地には建物の礎石が露出しています。ここからは上城戸など山麓の城下町跡の一部や、福井平野を一望できます。そして天気がよければ三国湊まで見渡せます。

7
一の丸跡

一の丸は一乗谷城の防御の中心である尾根上の連続曲輪群の最も北端に位置します。広さ約1,100㎡の楕円形で、西南側下段に約250㎡の突出した平坦面が付属します。北西側裾には空堀が確認できます。

8
二の丸跡

二の丸は一の丸と同様に東西に巨大な堀切を構える独立した曲輪です。そのため、一の丸とともに本城における防衛上中心的な位置を占めていたと考えられます。

9
三の丸跡

三の丸は南北の長さ約110mを測り、弧状に細長くのびる曲輪です。標高473.58mの基準点がある、広さ約430㎡を測る中央の曲輪が三の丸の中心です。北曲輪と中央曲輪は幅8.3m、深さ6.5mの堀切によって区画されており、南曲輪との間には幅19.4m、深さ3.8mの堀切があります。

曲輪とは？



濠や土塁、石垣などで囲まれた平場のこと。

一乗谷城（中心部）縄張図
作図 新谷和之